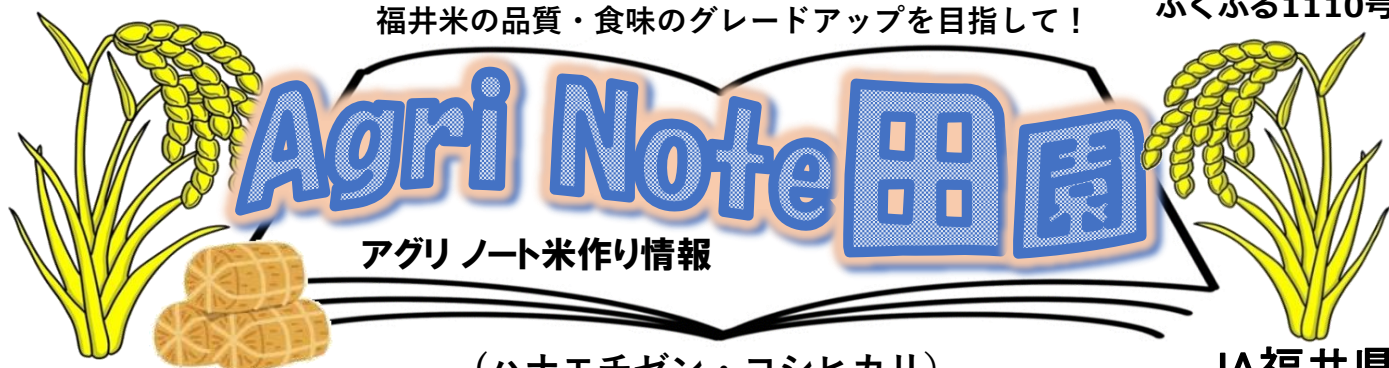




アグリ ノート米作り情報

(ハナエチゼン・コシヒカリ)

JA福井県

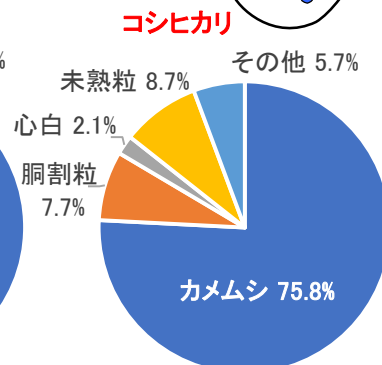
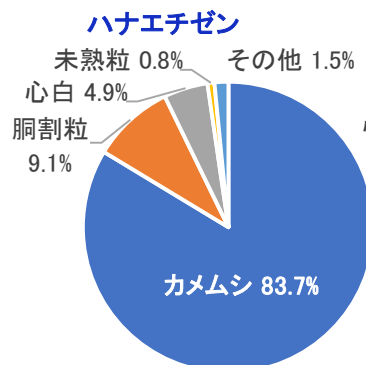
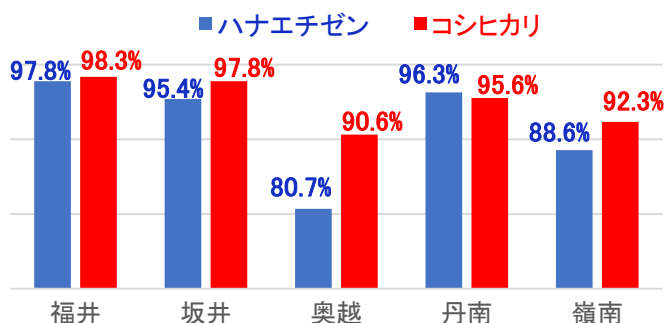
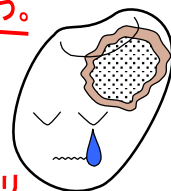
11月に入り、秋が深まり、日増しに寒くなってきました。農家の皆さまにおかれましては来年の米作りに向けた秋起こしや畦畔除草を終えられ腰を落ち着ける頃かと思います。今号では米作りの締めくくりとして今年産米の品質や被害粒の状況を振り返ります。来年のより良い米作りに向けしっかりと準備をしていきましょう。

1. 今年産米の状況と次年度の米作りに向けて

今年産米の検査状況：棒グラフは各地区の1等米の比率です。

JA福井県の1等米の平均は、ハナエチゼンで94.9%、コシヒカリで95.1%でした。また、円グラフは被害粒の比率です。ハナエチゼン・コシヒカリで多かったのはカメムシ(斑点米)でした。カメムシ対策としては、畦畔の雑草管理や防除の徹底を再度確認して次年度は全量1等を目指しましょう。

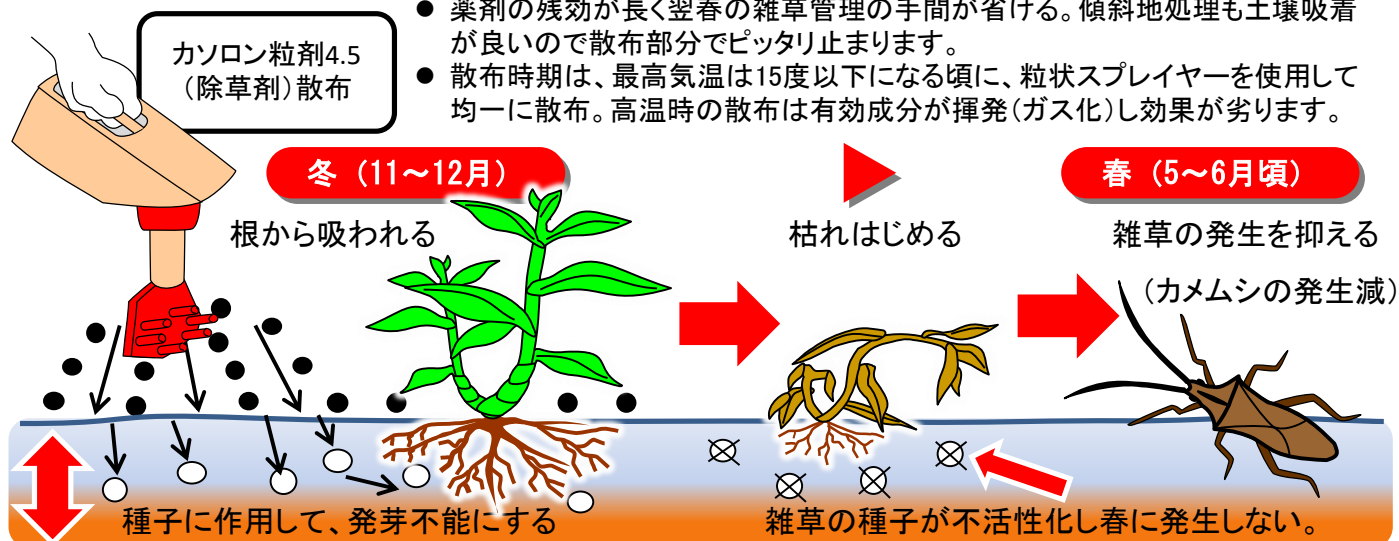
ハナエチゼン・コシヒカリの被害No.1はカメムシ！
次年度の対策を考えましょう。



2. 翌春の畦畔管理の省力化とカメムシ対策

畦畔・農道の雑草はカメムシの絶好の生息場所です。確実な雑草対策で越冬カメムシを死滅させ翌年発生するカメムシを減少させましょう。

- 薬剤の残効が長く翌春の雑草管理の手間が省ける。傾斜地処理も土壌吸着が良いので散布部分でピッタリ止まります。
- 散布時期は、最高気温は15度以下になる頃に、粒状スプレイヤーを使用して均一に散布。高温時の散布は有効成分が揮発(ガス化)し効果が劣ります。



3. アンケート調査について

【アグリノート田園・菜園アンケートQRコード】



今年度、JA福井県では営農情報の発信強化として、アグリノート田園・菜園を作成・発行してきました。発行は各地区の若手営農指導員が持ち回りで資料作成をしました。今後、より良い営農指導への取り組みの参考としてアンケートへのご協力をお願いします。



今回のアグリノート田園は、永平寺支店 営農経済課 田中が担当しました。